

地域医療連携室

フレンディーだより

Community medicine cooperation room



地域の皆様に
愛される病院へ

KUROBE CITY HOSPITAL



2026
vol.83

R8.7 発行

黒部市民病院 黒部市三日市 1108-1

E-mail : friendly@med.kurobe.toyama.jp

診療科紹介

循環器内科

循環器内科は、心不全や虚血性心疾患、不整脈、弁膜症等の循環器疾患の診療を行っています。診断は各種検査を総合して行っていますが、現在のCTスキャンはより鮮明な冠動脈の画像が得られるようになっていきますし、核医学検査で一部の心アミロイドーシスの診断も可能となっています。治療は薬物療法の他カテーテル治療、ペースメーカー植込等を行っております。日常診療の中でお困りの循環器症例は気軽にご相談ください。



糖尿病・内分泌内科

みなさまこんにちは。糖尿病・内分泌内科の毛利研祐です。当科では1型・2型糖尿病や、各種内分泌疾患の診療をさせて頂いています。

特に2型糖尿病に対しては、運動療法を含め生活習慣に重点をおいています。優秀なスタッフが患者さまとともに糖尿病の改善をお手伝いします。

1型糖尿病の診療ではインスリンポンプ療法を行っている患者さんもおおく、従来のペン型注射の治療からインスリンポンプに切り替えることも可能です。

また、金沢大学代謝内分泌内科と連携し、希少疾患や難病の内分泌疾患についても診断・治療を行っています。

関連のご病気に関しましては、いつでも気軽にご相談ください。



外科

当科では、手術支援ロボット da Vinci (ダ・ヴィンチ) を用いた低侵襲手術を3年前から導入しております。現在、順調に稼働しており、患者さんの身体的負担を軽減し、早期回復を目指した治療を提供しています。

また、当科は手術だけではなく、がん患者さんの術後のフォローや薬物治療、緩和ケアなども担っております。今後とも、地域の先生方と連携しながら患者さんにご家族に寄り添った医療を提供していきたいと思っています。



小児科

当院小児科は地域で唯一入院、分娩が可能な施設として急性疾患から慢性疾患のフォローまで幅広く対応しております。呼吸器疾患・感染症をはじめ、けいれんなどの小児救急にも対応し、必要に応じて高次医療機関とも連携しています。お子さんご家族が安心して生活できるよう、かかりつけの先生方と迅速な情報共有と丁寧な診療を心がけ、新川医療圏における小児医療の充実に努めてまいります。



整形外科

整形外科は、骨・関節・筋肉・神経などの運動器を対象とし、首から下の痛み、しびれ、外傷（骨折・捻挫）変性疾患を治療する科です。保存療法から手術まで、患者さんの活動性を維持・向上させる包括的な診療を提供し、小児から高齢者まで幅広い層の、個人の要望に応じた QOL（生活の質）向上を目標としています。

各医師の専門性を生かし、良質な医療を提供していきます。何卒宜しくお願い致します。



耳鼻いんこう科

耳鼻いんこう科は医師3名・看護師3名中心に、耳・鼻・咽頭・喉頭・唾液腺・甲状腺・頸部腫瘍などを診療しています。待ち時間軽減のため原則予約制としておりますが、県東部で常勤耳鼻科医を有する唯一の病院として、緊急手術や入院治療が必要な症例にも対応しています。嚥下困難を伴う強い咽頭痛など緊急性が疑われる症例は、ご一報のうえ速やかな受診をご検討ください。今後も連携を大切に、地域医療に貢献してまいります。



産婦人科

産婦人科外来では女性の心身の悩みや、妊娠・出産、婦人科疾患への対応を行っています。様々な女性のライフステージにおける悩み・問題に対して、相談しやすく、安心・安全な医療が提供できるようスタッフ一同努めてまいります。



救急科

4月より腰塚医師、松野副看護師長が着任、月岡センター長、西本副看護師長のもと運営しています。人手不足ですが医師補助職とともに、ご紹介いただいた患者さんの迅速な対応に努めています。



糖尿病・内分泌内科外来からのお知らせ ～肥満薬物治療について～

糖尿病・内分泌内科部長

毛利 研祐



糖尿病・内分泌内科では、肥満薬物治療の外来を行っています。

肥満症治療の基本は食事療法と運動療法にあり、これらは薬物治療を受ける際も並行して継続する必要があります。当外来では、これらの基本治療に加え、薬剤を用いることでさらに効率的な減量を目指します。

肥満薬物治療には保険適応が厳格に設定されており、高血圧症または脂質異常症で何らかの内服治療を行っている方が対象となります。

薬物治療を開始するまでには、医師の診察、栄養指導を含む複数回の通院が必要です。具体的には初診から薬物治療開始までに最低でも6ヶ月間を要します。

また、薬物治療終了後には、リバウンドがほぼ必発なのでリバウンド防止のために薬物治療が開始となったあとも定期的に栄養指導を受けていただく必要があります。

かなり厳格な保険適応基準があるので「薬を使えば痩せられる」という単純な仕組みにはなっておらず『痩せたい』というモチベーションが強い方であれば、導入が難しいと感じています。

栄養指導のマンパワーもあり、そこまで多くの患者さんをお引き受けすることは難しいかもしれませんが、皆様のお役に立てるようにスタッフともども誠意をもって対応させていただきます。

『痩せたい』というモチベーションがあり、降圧薬または脂質異常症治療薬を内服している方で、肥満による健康障害がある患者様がいらっしゃいましたら、ご相談いただければ幸いに存じます。

フレンディー新メンバー紹介！



初めまして。4月から地域医療連携室フレンディーに医療ソーシャルワーカーとして働かせていただくことになりました、辻彩有伽・鬼原結月です。

患者さんやご家族の思いに寄り添い、保健・医療・福祉の専門職の皆様、病院スタッフの皆様と連携しながら、患者さんが住み慣れた地域で安心して生活が出来るよう支援していきたいと思っています。

わからないことばかりで、各医療機関や各福祉施設の皆様にはご迷惑をおかけすると思いますが、フレンディーの一員として患者さんやご家族のお力になれるよう、笑顔を忘れず頑張りますのでよろしくお願いいたします。